



陽気は幸せの種

陽気だより

図書出版 養徳社
〒632-0016
天理市川原城町388
TEL 0743 (62) 4503
FAX 0743 (63) 8077

養徳社 検索

ホームページからご覧いただけます

No63

2012.6.15

第6号(24年12月号)から

『陽気』は、昭和24年4月の創刊、今年で63年を迎えます。過去の記事から、その歩みの一端を振り返っていきます。



鹿児島

幸運の手紙というのが、流行ったことがあったが、このほど、鹿児島市署の藤崎捜査主任あてに

「幸運のクサリ」というものが封書でまいたんで来た。文面に曰く「このクサリは受取ってから四十八時間以内に必ず他に送るべし、万一、破ったり、長く持つておれば不幸あるべし、ルーズベルト氏はこのクサリを受取って数時間にして大統領に当選、某資本家はこれを笑って破り、不慮の死をとげた」と、さすがの藤崎主任も、よい気持がしないのか、ポケットから出したり、ひっこめたり、民心を惑わすケシからん奴、屹度クサリにし

偽物横行の昨今、人間の偽物も珍しくない。名古屋で有名な、日本画の「小寺礼三画伯」が、ついさきごろ、奈良の国警(国家地方警察・昭和22年〜29年設置)を訪ね、「この色紙を四十八円で如何ですか」という申し出に、なにしろ、帝展五回入選の同画伯のものとしてはペラ棒の安値、

てやるゾ」とブリブリしているとか。
奈良

これはと係官も喜んだが……。さすがに警察、クサイと睨み同画伯と面識のある署長が会ってみるとなるほど本物そっくりの御人相。まづ自宅に招いて突っ込むと、しどろもどろの態で、果てはブルブルふるえ出した。しかし最後までニセ物とは白状せず結局写真と指紋をとられて、この男一応許してもらったが、うっかりするとヒツかかるこの種のインチキ男は数多いそう。御用心御用心。



伸び行く子供の一日

ある日の

天理幼稚園

毎朝、九時になると、ほくはお隣の陽子ちゃんと一緒に、幼稚園にゆきます。お母さんの作ってくださったお弁当をもって、幼稚園は大正七年という、ほくの生れる前のその前の、ずっと前に出来たものです。

生と死と自由用

「長男徳治郎五才にして俗にいう胎毒が原因となり一時に失明しました。」

丁度その折、明治十九年の秋の末頃、桜井町のある寺の庭にて豊年の伊勢神楽の奉納がありまして、近隣近在の者いずれも見物に出かける賑わいに、徳治郎も連れて行けとせがみますので、眼は見えねど親心として、せめては太鼓や笛の音なりともきかせてやろうと背負って行きました。ところが徳治郎は幼いこととて自分の眼の見えないことを弁えず、『神楽を見せて見せて』とせがみつき泣き叫ぶので、嗚呼とばかりに子の愛念から人込みの中で思わず声をあげて親は泣き崩れました。

何とかして救いたいとの親の一念から、予てより不思議に助かる神様として天理王命様の名をきいていましたので、早速徳治郎を背負うてお地場へ参拝しました。すると教祖様がこの子を御覧下されて、『よう帰って来た。来世まで盲目であるところを来世は目開きで通さし頂けるで、

これからは人様を助ける心と立替えて通るようにしなはれ。すれば神は自由用を見せてやる』という意味の御言葉でありました。

それから一心に信仰し、又匂いがけもしていますと、ふしぎにも徳治郎の眼が次第に見えるようになりました。その時の親の喜びはいかばかりでありましたでしょう。有難い有難いと喜んで居りましたところが、その喜びも束の間で、又兩三日中にはどうしたことか身上迫って、ほとんど吐息ばかりになりましたので、親たちは仰天して、その子を負い、再び地場へ馳せつめたのですが、その時はすでにこと切れて居りました。

そこで教祖様に、どうか今一度救けて頂きたいと申し上げましたところ、教祖様は、『これでよい』

と仰せられたばかり。親たちが物足りなく思っていますと、

『生れるのも死ぬのも神の自由用や』と仰せられたかと思うと、徳治郎は、ギャツと一声泣くと同時に、眼は元の通り真白になって居りました。

すなわち、息は返ったのですが、眼は来世まで待たねばならないという、神様の思召であることがわかりました。そこで、来世では明るい理を見せて頂くことを喜び、早速御礼申し上げて、迎え取って頂くことを、神様の御慈悲である」と



本部西側広場に咲く花菖蒲

喜ばして頂くようになりますと、直ちに

出直してしまいました。ここに神様の自由用の働きに感泣したのであります。(中略)私は即座に道一条

に出さして頂くようになつたのであります」

神の手引

(「真実の道」

道友社刊より)

養徳社 よもやま話

○月○日 社内でも電子書籍の話が浮上りました。紙の本とは違い、厚みのない、平面上で見える書籍だけあって、雲をつかむような状態。読者にとってのメリットがあるのか？ どのように見えるのか？ どこに行つてどうやって買うのか？ と多数の疑問が噴出。

「電卓やワープロが出始めた時と同じや。さっぱりわからん」未知との遭遇にお手上げ状態の五十代半ばの者も……この先わが社で電子書籍を出版できた時、人差し指で、画面上の書籍のページを軽やかにめくって読む事は出来るのだろうか？

○月○日 社内でも体脂肪率最高数値を叩きだしている某氏。今年の健康診断では各種検査数値を下げようと目論んでいる。従来のお昼ご飯はおにぎり2つ、カップラーメン1つ。ラーメンはスープまで飲み干していた。今はおにぎりを1つ、カップラーメン1つに減量した。

しかし、その反動なのか、小さなコップにスプーン2杯もの砂糖を入れて毎日コーヒーを飲んでる。今年の検査数値、おにぎり1個分減っているか？ 砂糖2杯分のカロリーが増加するの？ っていうか、炭水化物だけで減量になるのだろうか？

話題の1冊

最新刊

人間がたずかる原理

「天の理」を解きほぐす

著 中臺 勘治
(報徳分教会長)

四六判並製 304 頁
定価=1,365 円 (税込)

養徳社

天理市川原城町 388
☎(0743)62-4503
http://yotokusha.com/